

## 訪問事業について提案

恵那市が合併していろいろなことが変わってきました。子育てについての考え方や、まちづくりの「みんなで協力してやっつけていこう」という取り組みなど、課題はたくさんあり、すぐにというわけにはなかなかできないかもしれませんが、東野では幼稚園が3年保育、延長保育に、地域懇談会の後すぐ行われるようになってびっくりしました。意見や考えを出していくことが大切だなと感じました。

特に、障害者やお年寄り、乳幼児のいる家庭など訪問して、様子を伺うということを提案します。

(平成18年度市政モニター)

## 不燃・資源ごみの出し方を考えてほしい

不燃ごみが月1回なのはいいとして、ペットボトル、瓶、缶も月1回は少なすぎます。以前住んでいた岐阜市では週1回でした。家にずっと置いておけないので、ほかに捨てるに行くことも考えてしまいます。

また不燃ごみで長いものを1枚以内に切って出せない物(物干し竿やラックなど)はそのままでいいと思います。車が軽自動車だとセンターまで行けません。みんながみんな大きな車に乗っているわけではないです。

(太田さん・大井町)

## 答

現在、不燃・資源ごみの収集は、市内全域一律で月1回としています。これを月2回に増やすことは、広範な市域の中で収集にあたる車両や人員などの体制から難しい状況です。

## 答

ご提案ありがとうございます。ご提案ありがとうございます。一人暮らしの高齢者の方へは、各地域の民生委員さんが月2回定期的に訪問されています。また民生委員さんやご近所の方からの情報によって、各地域の福祉あんしんサポートセンターの職員が訪問しています。

介護保険を利用していらっしゃる方には、担当ケアマネージャーが何らかの訪問をしています。

赤ちゃんの生まれた家庭へは、第1子の方には全員、第2子以降の方には希望される場合に、保健師または助産師が訪問を行っています。また低出生体重児については、保健所と連携して家庭訪問を行っています。このほか育児不安がある方には、必要に応じて継続的な訪問をしています。

障害をお持ちの方の家庭訪問につきましては、障害という特性や個人情報の問題もありますので、十分な検討が必要となります。また地域には、障害者相談員の方が同じ障害を持つという立場で相談に応じていただけますし、今年4月からは、市役所2階で障害相談専門員が相談に応じています。

今後は、相談窓口のPRにも努めます。

(高齢福祉課・健康推進課・社会福祉課)

## 答

ご要望のあった道路は、両側に家が建ち並ぶ密集地を通る道路であり、拡幅などの道路改良はできません。

また生活道として地域はもとより、多くの皆さんに利用されており、一方通行などの交通規制は、周辺道路網などの状況から困難ですが、昨年策定しました恵那市大井地区あんしん歩行エリア整備計画に基づいて、整備ならびに交通安全対策に努めます。

(防災対策課・建設課)

## 安全で歩きやすい道路を

私は時々、藤岡歯医者に歩いて通いますが、金沢町の道路はとても危ない。私は耳が聞こえにくく、前から来る車が見えると隅で待っています。手押し車のため車やトラックなどの大型車が、スピードを出して通ると風圧で倒れそうになります。またスレスレで通り過ぎる車がとても多いです。警笛もならさないトラックもいます。この道は一方通行にはなりませんでしょうか？

(縷織さん・大井町)

## 防災無線が聞こえない

火災やその他のことで「広報えな」の放送が流れますが、私の家の周りには山で、こだまして放送が聞き取れません。

土岐市の一部では、各家に無線のような機械があると聞きました。災害に遭ったとき、電話もできなくなり、何から情報を得られないのでしょうか。以前からこの話が出ていたようですが、いまだ何も対応されていないのではないのでしょうか？

(可知さん・長島町)

## 答

現在、防災行政無線は、市内の196箇所に屋外拡声子局を設置し、市民の皆さんに火災などの防災情報を放送していますが、屋外スピーカーからの音声放送のため、地域によって聞こえない、聞こえづらいところがあります。このため、スピーカーの位置調整などを行って対応していますが、現在の屋外型の防災行政無線で市内全域をカバーするのは難しい状況です。

このようなことから、本年度から既存の防災行政無線をデジタル無線に更新するとともに、新たな

## インタビュー



異国を訪れ自分が変わった  
奥村 友香 さん  
(恵那西中学校3年生)  
7月にオーストラリアでの交流事業に参加し、同い年の子の自己主張の強さと温かさを学びました。帰ってから私も笑顔を忘れず、自分を好きになり、意思を持つようになりました。



坂折柵田で稲刈り体験  
長谷川 潤くん  
(中野方小学校6年生)  
家で田植えなどのお手伝いはしていますが、かまを使っての稲刈りは昨年に続いて2回目。かまの扱いにも慣れてうまく刈り取れました。五平もちなどにして食べるのが楽しみです。



サッカー教室に参加  
西尾 悠人くん  
(岩邑小学校4年生)  
レイナルド先生のサンバの曲に合わせての練習は、少し恥ずかしかったけどおもしろかった。ドリブルなどの練習のほか、ミニゲームではシュートが打って、楽しかった。



米づくりを体験して  
松岡美里さん・荻山史菜さん  
(上矢作小学校5年生)  
初めは稲がうまく刈れなくて、腕ばかり痛くて大変だったけど、慣れてくると一回で刈り取れた。秋の収穫祭では、自分たちの作ったお米で五平もちを作るので、すごく楽しみ。



(環境課)